

見坂茂範 参議院議員との意見交換会

日時 令和8年2月16日(月) 昼食 12:00~12:10 意見交換会 12:10~12:50

場所 グランドアーク半蔵門 3階 トパーズ

出席 26名

見坂参議院議員 富山秘書 以上2名
建コン協 大本会長 福岡副会長 高橋副会長 多田副会長 以上建コン協4名
連盟 本部 村田会長 松村幹事長 千田会計責任者 長谷川本部顧問 高野本部顧問
松原会計責任者職務代行 和作本部幹事 欠席:大島本部顧問
支部長 早野(北海道) 菅原(東北) 松永(関東) 青木(北陸) 青柳(中部) 山本(近畿)
來山代理(中国) 天羽(四国) 田中(九州) 欠席:小田(中国)
監査役 佐藤 來山 中川(前監査役)
前任 森前会計責任者 竹内前近畿支部長 中川前監査役 以上連盟20名

意見交換会要旨

松村幹事長(司会進行) 只今から、「見坂先生との意見交換会」を開催します。連盟村田会長より開会の挨拶を、続いて建コン協大本会長、福岡副会長、高橋副会長からご挨拶、要望をお願いします。

村田 コンサルティングエンジニア連盟会長挨拶 国会の召集が16日との話もあって気をもんでおりました。先ほどのご講演でもございましたが、自民党の公約では必要な経費や事業を当初予算化するという事を掲げておりますので、ぜひそれに向かって頑張っていただきたいと思います。それから国土強靱化は第一次ということで、今後引き続き第二次、第三次を見坂議員のお力添えで本当に必要な国土強靱化をどんどん進めて頂ければと思います。

ここにお集まりの方から現場の声を直に聞くということ、毎年総会後に行っておりますので、意見を聞いてその場で答ええることがありましたら是非ご回答をお願いいたします。本日はお忙しい中おいで頂きありがとうございます。

大本 建コン協会長挨拶・要望 見坂議員におかれましては、大変お忙しい中、意見交換会にご出席賜り誠にありがとうございます。また、皆様には日頃より建設コンサルタンツ協会の活動に対しましてご理解とご支援を賜り御礼申し上げます。この度の衆院選での圧勝を見ますと、今年の参院選は何だったのだろうと思う次第です。

高市政権の中の予算ですが、建設コンサルタントの業務量をしっかり確保して頂きたいのですが、中々全体の事業費が増えておりません。建設コンサルタント業務は調査、計画、設計等、インフラ整備の上流の部分を中心に担当しています。限られた予算の中では、やはり上流の部分にしっかりと金をかけていただくことが、全体として効率的なインフラ整備につながるのではないかと思います。是非とも建設コンサルタント分野の業務量の確保、拡大をお願い致します。

2点目は、要望の際に見坂議員にもご同席頂きました令和8年度からのコンサルタント版のスライド条項について、先日の国交省の技監との意見交換会の中でも、建設コンサルタント業務は出来高の確認が中々難しいというお話がでました。ただ、例えば令和7年度と令和8年度の業務の中で、令和7年度の出来高を確認するというよりも、令和8年に何をやるかがわかれば、スライドできるのではないかと思います。ぜひともその辺柔軟な形で対応できるようご支援いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

建設コンサルタント業界は、末永く先生をご支援して参りたいと思いますので、引き続きよろしく願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

福岡 建コン協副会長挨拶・要望 見坂先生には、力強いご講演をいただきありがとうございます。建設コンサルタントの地位向上に関連したお願いです。ご存じのようにAIが発達しており、近い将来、設計とか計算、資料作成等の大半が代替可能となるのではないかと思います。最後にその価値を決めるのは人間の判断と責任であり、そのためには高度なマネジメント能力が必要となると認識しています。

しかし、現行の制度では、そのような高度なマネジメントが求められる業務でも、価格競争に巻き込まれる懸念があります。プロポーザルは技術競争とは言え、業務の参考規模が決まっていますので、上限拘束になる懸念があると考えています。今後の高度マネジメント人材の育成とか法制度化、もう一つは、ちょっと違いますが技術と人材と実施体制でコンサルタントを選定した上で価格交渉するとか、そのようなやり方が今後の AI 時代にふさわしく、かつ建設コンサルタントの地位の向上等に寄与するのではないかと考えております。多少時間がかかるかもしれませんが、こういう仕組み作りなども検討して頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。

高橋 建 **コン協副会長挨拶・要望** 世の中ではここ数年生成 AI の活用が急速に進んできているのはご存知の通りです。協会や各会員企業でも生成 AI の活用がなされていて、成果物の品質確保、業務の効率化に大いに役立っています。この点から過去の成果品を生成 AI の学習データとして賢く使いたいと考えています。しかし、現状の課題として契約約款や著作権法に関する課題があつて、発注者との調整が必要な状況にあります。国交省としても既存成果品の活用には非常に前向きだと伺っていますが、国としての活用ルールを設定を急いで頂いて早期に国の宝の山である、既存成果品の活用ができるようにスピード感を持ったスケジュールの提示をお願いと考えております。この点について見坂議員の後押しをよろしくお願いいたします。

9 支部からの要望

松村幹事長 続いて 9 支部長、北海道支部長から順に一言ずつ要望など申し上げます。

早野北海道支部長 昨年 11 月の要望（常任理事代理出席時）と同じですが、一点目は第二青函トンネルの建設の整備です。現在物流は道路で結ばれている本州、四国、九州間のトラック輸送が中心ですが、北海道と本州間はフェリーを含む海上輸送が 9 割以上を占めています。残りが鉄道です。先日の大雪の際には、災害に弱い鉄道輸送が 10 日以上運休止、道内のスーパー等では食料品の品薄が発生しました。また、将来懸念される日本海溝・千島海溝地震が発生した場合には、津波の影響等を考えますと本州から北海道への支援が遅れる可能性がありますし、その逆も懸念されます。

観光面では、北海道は非常に高いポテンシャルがありますが、道路での接続が無いことでその力を十分に発揮できていない状況にあります。昨年 12 月に第二青函トンネル建設プロジェクト推進議連が立ち上がりましたが、早期整備に向けてぜひ検討をお願いします。

二点目は、ロシア国境や地方領土に隣接する根室、稚内等に繋がる高規格道路の整備の促進です。これらの地域への交通アクセスを向上させ、定住を促進することは、国防上も非常に重要だと考えます。第二青函トンネルも含めて、先程ご講演でもございましたが、高規格道路の整備に防衛関連経費の活用もできるようにぜひご検討をお願いします。

管原 東北支部長 昨秋感じたことですが、改正品確法の中に設計、測量、地質調査などが準じた運用ということになっていますが、国、県は兎も角として、市町村レベルではまだまだ品確法の考えが浸透しておらず、低価格、ダンピングが散見されます。国の補助金、交付金などで発注している公共事業も多いので、その場合には国に準じた形での業者選定やダンピングを防止するような指導、あるいは法律での徹底などして頂けたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

松永 関東支部長 先程のご講演では力強いお話を頂きありがとうございます。実は今年のこの席で佐藤信秋先生から予算確保には財務省との協議が一番大事だというお話がありました。先程見坂先生から財務省との協議で毎年 20 億円ずつインフラ予算があがっているが、220 億円、500 億円、1000 億円へと力強いお言葉を頂きました。ぜひ、事業量確保の点でもよろしくお願いいたします。

あと、昨年も要望しましたが若い人に夢を与えるプロジェクトの働き掛けをぜひお願いします。建コン協、CE 連盟の若い方にも「何が夢を与えるプロジェクトなのか」、若手の会とかでの議論が重要だとも思いますが、それが具体的に見えてない所がありますが、その辺の働き掛けをお願いします。

青木 北陸支部長 昨年は参院選での上位での当選本当におめでとうございます。連盟でもバックアップさせていただきましたが、先程ご講演の中でもお話がございましたが、職域代表として建設業界をお一人で担っていますが、お体に気を付けて頂き、これから2年半頑張ってもらえればと存じます。

前回もお話しましたが、北陸は一昨年、能登半島大地震後の災害復旧がまだまだ続いております。一般世間の方はまだ忘れてはいないと思いますが、何かと話題になることが少なくなってきました。復興の遅れの原因は「人手不足」が一番です。それと雨が降ったので二次災害が重なって、石川県などでは更に災害が大きくなって、益々人が足りなくなって事業が遅れています。また、人手不足とならないように、建コン協の魅力アップへの点でもご尽力をお願いします。

青柳 中部支部長 公共事業費の増額をぜひお願いします。先程のご講演の中で責任ある積極財政への期待がヒシヒシと伝わってきました。最近、名古屋駅前の再開発プロジェクトが中止となりました。これは民間主導のプロジェクトなのでやむを得ないかと思いますが、地域振興に資するプロジェクトに対して、ぜひ公共事業として目を向けて頂いて、地域創生などにもお力を頂きたいと思っております。

山本 新近畿支部長 支部長になって改めて関西のインフラの現状を確認しますと、不連続で十分でない道路ネットワークの状況とか、インフラの老朽化が顕在化していると思っております。加えて関東支部長からお話がありましたが、大規模プロジェクトが減少しており、北陸新幹線・リニア等が2040年代後半ということで、30年代半ば以降の大型プロジェクトがありません。

近畿支部では2016年度から関西の未来に向けて若手が主体になって提言を出しています。2026年度も新たな提言へ向けて動き出したようです。私も先生のご講演を何度かお聞きしていますが、四全総のような国土計画を目指しておられるということで、ぜひ引き続き国土計画の強い推進と近畿支部の提言への後押しをお願いします。

來山 中国支部長代理 中国支部からは昨年12月に計画決定しました下関北九州道路橋プロジェクトの1日も早い執行推進を強くお願いします。それからNEXCO西日本を始め、どんどん事業量が減っている中で、地方の建設コンサルタントとしては技術継承をしっかりとしていくためには、先程のご講演にもありましたがぜひ事業量の確保をお願いします。

それから見坂先生には、大変ご多忙の中でお体には十分お気をつけて頂きたいと願うと共に、先日の衆議院議員選挙で国交省から出られた繁本護議員が当選されましたが、いろんな仲間を増やして頂いて、我々の業界の発展にご尽力をお願いします。

天羽 四国支部長 本日は夢ある非常に元気づけられるご講演をありがとうございました。四国は人口減少が進み、その中で業界に入って来る新しい活力ある若者も少なく、事業継承等の問題もあります。これは何故かと考えますと、まだ高速道路が繋がっていないという実態があり、非常にインフラ整備が遅れております。インフラ整備が進んで四国中を結ぶことができれば、当然農林水産業や地域の産業が活性化し、新しい工場が誘致され色々な面で地域が活性化しますので、ぜひ未着の高速道路等についてご尽力を頂ければと思います。これは、近未来に発生が予想される南海トラフ地震への災害対策にもなると思います。それから3月8日には徳島南部自動車道の開通式へのご出席をお願いします。

田中 九州支部長 昨年の参院選でなぜ郵政に勝てなかったのかと考えますと、建設業界ではものすごく貢献されていると皆わかっているのですが、一般市民、一般国民に対してのPRが我々できていなかったということだと思います。今日見坂先生が、ご講演で税制調査会での住宅ローンの減税とか仰っていますが、そういう情報があればもっと我々が言えたのですが、やはり一般住民、国民へのPRをもっとすればよかったなと思います。一般市民、住民が今何を困っているかというところ、地球温暖化とか地球環境の悪化とか非常に困っていると、それに対して建設業界は再生可能エネルギーとか二酸化炭素の吸収コンクリートとか、そういった脱炭素化社会の実現に向けて非常に頑張っているということをPRできれば、一般住民、国民の票がぐんと増えて、5年後の2期目の当選の時は、郵政に勝ってトップ当選になるかと思っておりますので、その辺の情報を我々に頂ければありがたいと思います。

松村幹事長 建コン協、連盟 9 支部長のお話を踏まえて見坂先生からご意見、ご感想などを賜ります。

見坂議員からのご回答

御礼 ご意見ありがとうございます。本来真っ先に支部へ御礼に伺わないといけないのに、参院選前に各支部でお世話いただいた方に御礼に伺えず失礼しております。如何せん先程お話ししました通り、東京から中々離れられません。職域代表が 2 人いれば 1 人東京で 1 人地方へ 1 年くらいかけて御礼廻りすればいいのですが、そういう状況にはありません。2~3 年かけて各支部へ御礼に伺いたいと思っております。「見坂は、業界の為に東京で働いている」と会員の皆さんにお伝えください。

AI 対応 福岡副会長と高橋副会長からお話のありました AI 時代への対応ですが、正にこの業界、法制化も含めてできていないので、次の品確法のネタかなと勝手に思っております。でも品確法の改正は 5 年毎なので対応が遅くなりますので、どこをどう変えてほしいのか具体的な提案を頂ければ、国交省の契約約款とか色々なルールを先行して変えていくことが考えられます。できましたら個別具体的に、今の契約約款の「ここが弊害、ネックになっているので、生成 AI、成果物の活用ができない」等を教えて頂ければと思います。建設コンサルタント業界だけでなく建設業界は 2~3 年で完全に AI 関係の活用が普及してくると思っておりますので、そうしたらその時には品確法の改正の中でしっかりと位置付けたいと思っております。高度マネジメント人材というお話がありました。最後に決断して見極めるのは人の力でありますので、技術者の地位向上の観点からも取り組んでいきたいと思っております。

ちょっと話が脱線しますが、私は技術士資格を持っていて登録していて、国会の技術士議員連盟にも入っております。政治の世界でも技術者の地位の向上の観点からも、高度マネジメント人材の育成の法制化等も含めてやっていきたいと思っております。

第二青函トンネル 私も第二青函トンネル建設プロジェクト推進議連に入っております。いろんな所でこのプロジェクトの話をしていたので、「技術的な観点からアドバイスがほしい」ということで北海道選出議員から請われて入りました。重要なプロジェクトなので推進すべきだと思っております。国の安全保障、食の安全保障を考えた時に北海道というのは大事な地域ですので、陸続きにしないといけない。道路で北海道と本州が繋がっていないというのは、日本の現在の大きな欠陥だと思っております。

品確法の市町村への浸透 品確法の市町村への徹底はご指摘の通りです。市町村への品確法の浸透はまだままだの感じがします。ダンピング、低入札価格調査基準、変更契約などもまだまだで、品確法を守れない市町村を公表すべきと国交省に言っています。公表して「見える化」すべきです。

若い人へ夢を与えるプロジェクト 今年私が出席予定の 7 月 22 日の建コン協「若手の会」との意見交換会は、建設コンサルタント業界を担う若い人に夢を持ってもらう、あるいは魅力のある業界であることを知ってもらうために、直接若い人達に働き掛けができるよい機会であり期待しています。

能登半島地震災害の復旧 能登の災害復旧ですが、実は工事については輪島や珠洲の建設業組合の方が直接私を訪ねて来られて、工事の課題を教えてくださいました。私は直接北陸地整の高松局長とホットラインができていますので、色々現場の声を吸い上げて、制度改正など高松局長や企画部長に伝えて直してもらっています。調査設計業務についても課題がありましたら教えて頂ければ、すぐにでも整備局他とのパイプ役になりますので、おっしゃって頂ければと思います。

能登の災害復旧はマンパワーにも限りがありますので長い事業になると思っております。しかし、絶対能登の災害は忘れてはいけません。5 年、10 年かかろうと、私は災害対策特別委員会の事務局次長をやっていますので、そこで定期的に発言して、見放していない所を示していきたいと思っております。

下関北九州道路橋プロジェクト このプロジェクトは、私の福岡県出向時代からのライフワークであり、私が計画したスケジュール通りに進んでいます。令和 7 年末に事業化決定後、国会審議の段階で、国会でも質問していきたい。私は、単に橋を架けることが目的ではなく、周りの関連施設も含めたいろんな事業が目白押しですので、福岡県と山口県の間に周辺ネットワーク整備も合わせて、中国縦貫道とも繋げないといけないので、国交省と共に整備を進めていきたいと思っております。

四国徳島道路開通式典 3 月 7 日肱川災害イベント、8 日に徳島道路開通式へ出席を予定しています。

最後に 私から皆さんへのお願いです。建設コンサルタント分野でもいろんな課題、まずは仕事量の確保、予算の確保が最大課題ですが、あと利益率のアップ、低入札調査基準価格、最低制限基準価格、諸経費の引き上げ、技術者単価アップなど色々あります。どの辺からどうやって進めていくのがよいのか、そのあたりを色々具体的にご提案頂ければ、国交省にも知恵を借りながら進めていきます。仕

事量の確保、利益率のアップの方向から攻めていき、最終的には働く技術者、若い職員、若い人達の賃金アップにつながるようにしていきたいと思います。

※見坂議員の令和8年セミナーなどご予定

6月29日(月) けんざか茂範君を励ます会 (東京 ホテルニューオータニ)

9月17日(木) 未来創生クラブセミナー (大阪 大阪ヒルトンホテル)

松村幹事長 見坂先生には、数々の前向きなご回答を頂きありがとうございます。最後に、連盟長谷川顧問から締めめの挨拶をお願いします。

長谷川 本部顧問 本日見坂議員には、総会、時局講演会、意見交換会と非常に長時間にわたり、また我々連盟、業界の要望に真摯に対応していただきましたことに御礼申し上げます。先ほどからお話に出ていますが、昨年の参議院選挙では非常に自民党の逆風の中、見坂議員を業界として高位で国会にお送することができ、その後のご活躍を非常にうれしく思っております。

高市政権下の衆議院選挙で自民党が2/3の絶対多数の議員数となりました。政治も諸々の事も人であると考えました。見坂議員には今後も大いに期待いたします。そういった中で高市政権は、責任ある積極財政が評価されたと思っております、それを支える一部として、先生も仰っている「インフラ整備は国土安全保障の一部である」という認識のもとで、今後も継続的安定的な予算確保にご尽力をお願いできたらと思っております。見坂議員は、当面孤軍奮闘の活躍で非常に苦勞をおかけしますが、業界を挙げて全面的支援をしていくことを約束します。今後も業界に対してご指導頂くということをお願いして本会の閉会の挨拶といたします。本日はどうもありがとうございました。 以上